

同好会報告

えず証拠写真を山ガール(?)にお願いした後、各自シートを広げゆくりと食事休憩を取る予定だが急に日が陰り風も出てきたので下山開始。頂上直下はかなりの急こう配でジグザグの道が過ぎるとコンクリート舗装の沢コースに出る。沢にはほとんど水がなく砂防ダムがやたらに多い。途中「卵岩」を見て初狩駅到着した。過去最速の山行でした。今回の天気は快晴であり富士山を望むことができ筋肉痛もなく楽な山行となった。

◆平成30年1月13日新年山行は山梨県都留市の河口湖町にあり、日本200名山の一座三つ峠山だ。バスタ新宿から河口湖行のバスにて4人で行った。河口湖駅到着後、タクシーで登山口へ。10時15分登山開始、登山道は数日前の雨で氷結しているが上に土が被っていたので滑らない。11時半三つ峠山荘に到着、しばし雄大な富士山の眺めを堪能した。11:50山頂到着50人程の登山者で賑わっている。写真を数枚撮り三つ峠山荘に戻り昼食休憩、風が冷たくなったので下山開始。母の白滝コースの分岐を左へ進み綺麗に舗装された緩やかな坂道を休憩なしで2時間45分ひたすら歩き、天上山からカチカチ山ロープウェイ駅に着いた。河口湖駅到着後バスで新宿への帰途についた。今回は、登りはよいよい下りは長い山行となった。三つ峠山は開運山(1,785m)、御巢鷹山(1,775m)、木無山(1,732m)の3つの頂上の総称であるが、最高峰である開運山を指すこともある。



河口湖町三つ峠

◆2月17日の山行は箱根の最高峰神山を計画。3人の参加だ。9時小田原駅に集合。伊豆箱根バスで箱根園へ到着し、バス停すぐ前の駒ヶ岳ロープウェイ駅に。すると係員にハイキングコースは「火山ガスのため閉鎖されてます。」と言われた。なんてことだ・・・なんてことだ・・・。事前に大涌谷の案内所に電話して神山の北側の規制は聞いていたが、駒ヶ岳側はOKですと言われたのに・・・仕方なく駒ヶ岳山頂にある浅間神社にお詣りし、付近の散策と写真を撮り、早々にロープウェイで降り芦ノ湖遊覧船に乗り換え湖上から箱根園と箱根神社の鳥居を巡り元箱根港で下船。お腹が空いてきたのですが適当な場所が見つからず、又バスに乗り小涌谷の箱根ユネッサンで昼食休憩とした。小田原に帰るバスの中で思いつき、時間が早いので小田原城の見学をすることに。到着後のんびり梅見・お城巡りをした。



箱根駒ヶ岳

◆3月17日の山行は、日本百名山の一座筑波山(877m)で5人の参加。9時50分つくば駅集合し、関東鉄道バスで登山口のつつじヶ丘駅へ1時間で到着。トイレ後登山開始。この山を代表する大岩弁慶七戻りを皮切りに様々な巨石を眺め、写真を撮りつつ女体山に12:30到着。15分後展望台裏手で昼食休憩とする。13:25男体山頂上に向かい証拠写真を撮り早々に下山開始。筑波山神社に着くもお詣りもせずバス停に急ぐ。15:30すでにバスが止まっている(ラッキー)。

ハイキング同好会

代表 奥山 悦 (昭和41年工業化学科卒)
携帯：090-5771-1743
E-mail：okuyama.kou@mx5.ttcn.ne.jp
事務局 嵯峨 良平 (昭和43年電気科卒)
携帯：080-1282-9458
E-mail：saga_ryohei@ybb.ne.jp

民謡同好会



民謡同好会は、これまでに年度別の課題曲として秋田節、秋田酒屋唄、ドンパン節、生保内節を選び練習に取り組んできました。そして今年、ザ・秋田民謡とも言うべき「長者の山」を課題曲に選びました。また今年から、三味線の名手、柳原藤忠さん(S39K)が加わり、尺八の鈴木彦之さん、嵯峨良平さんと合わせて超一流の演奏陣になりました。さらに指導はほぼプロの域の山形代表です。残る課題はメンバーの技量だけです。山形さんの厳しい指導を何とか受け止めて、少しはうまくなりたいと、月1回の新宿音羽亭での合同練習、そして個々人の自習を重ねるところです。

当面のテーマは以下の通りです。

- (1) 正しい姿勢で。
- (2) 腹から声を出す。
- (3) 正しい音程を覚える。

11月の金砂健児の集いでは、少しは上達した姿をご覧いただけるかもしれません。

新規の加入を希望される方大歓迎です。腹から声を出して、懐かしき秋田の雰囲気を実感しませんか。



民謡同好会

代表 山形 俊男 (昭和39年機械科卒)
事務局 佐藤 弘 (昭和40年機械科卒)
携帯：080-1206-5180

